

第14回始良・伊佐おやじサミット



平成29年2月12日(日)、湧水町総合交流施設いきいきセンターくりの郷において、地区内のおやじの会の組織強化を目的とした始良・伊佐地区おやじの会実行委員会主催「第14回始良・伊佐おやじサミット」が開催され、交流を深めました。

当日は、始良・伊佐地区のおやじの会の会員のほか、鹿児島市からの参加者など総勢約90人が参加しました。

チェーンソーアートデモンストレーション

おやじの腕自慢の紹介として、1本の丸太からチェーンソーひとつで作品を仕上げていくチェーンソーアートの実演がありました。制作者の仮屋良二さんは、大小のチェーンソーを使い分け、巧みにフクロウを作り上げていきました。



全体協議：「始良・伊佐おやじの会組織強化について」



今回のおやじサミットのテーマ「継続は力なり」に沿った協議が行われました。参加者から「連携して取り組むことが大切である。」「お互いの得意分野の情報交換をしよう。」などの意見が出されました。

事務局から、各おやじの会の代表や各市町社会教育担当者による行事の日程調整や申合事項等の確認を年度始に行うことの提案がありました。始良市連合会をモデルに組織強化を図るため、次年度から、おやじの会総会(仮称)を6月上旬に開催することが決議されました。

【講話】

演題：「伊佐と焼酎」

講師：大口酒造株式会社

代表取締役社長 向原英作 氏



昭和45年に11の造り酒屋が協業組合を組織し、平成19年に株式会社へ変更するまでの歴史とともに、大口酒造の環境対策や焼酎の効用、これからの焼酎造りに懸ける思い等をユーモアを交えながらお話していただきました。おやじの会を長続きさせるために人とふれあうこと、今一度、足もとを見つめることが大事であるということを学ばせていただきました。多くの参加者から「ふれあうためにも焼酎は欠かせない。」「環境問題と焼酎の関係は意外だった。」という感想が寄せられました。